



このように出題されています 過去問題練習と解説

問 1

(FE-H18-A-61)

データの正規化に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア 関係データベースに特有なデータベース構築技法であり、データの信頼性と格納効率を向上させる。
- イ データの重複や矛盾を排除して、データベースの論理的なデータ構造を導き出す。
- ウ データベースの運用管理を容易にするために、レコードをできるだけ短く分割する。
- エ ファイルに格納するデータの冗長性をなくすことによって、アクセス効率を向上させる。

解説

正解：イ

- ア 正規化をするとデータベースに格納する総データ量は、一般的に少なくなり、その意味では格納効率は向上します。しかし、データの信頼性とは関連がありません。
- イ データの重複や矛盾の排除が、正規化の目的です。
- ウ データベースの運用管理を容易にするために、表を分割します。
- エ ファイルに格納するデータの冗長性をなくします。しかし、表が分割されるので、表の結合処理が必要になり、一般的にアクセス効率は低下します。

問 2

(FE-H20-A-57)

次のような繰返し構造をもったデータを、第3正規形に正規化したものはどれか。ここで、下線部分は主キーを表す。また、単位と単価は商品コードごとに決まるものとする。

伝票番号	日付	顧客コード	顧客名	住所	#1	#2	#3	⋮	#n
------	----	-------	-----	----	----	----	----	---	----

繰返し

#1～#n:

商品コード	単位	数量	単価
-------	----	----	----

ア

伝票番号	顧客コード		
顧客コード	顧客名	住所	
伝票番号	日付	商品コード	数量
商品コード	単位	単価	

イ

伝票番号	日付	顧客コード
顧客コード	顧客名	住所
伝票番号	商品コード	数量
商品コード	単位	単価